

BeFine!

Systemex

株主・投資家の皆様との
コミュニケーション誌

第40期 第1四半期報告

2006年4月1日～2006年6月30日

証券コード:6869

健やかな、未来のために。



特集

優しい医療の これから

～新しい医療制度と私たちの暮らし～

- 業績の推移
- SYSMEX TOPICS
- IR・広報室からのお知らせ



インタビュー

代表取締役社長

家次 恒

Hisashi Ietsugu

シスメックス株式会社



高齢化による医療費の増加や医療制度の改革など、私たちの暮らしのなかで、医療に関わる話題を耳にする機会が増えています。医療に欠かすことのできない検体検査*の領域でさまざまな製品をお届けしているシスメックスにとってこの医療環境の変化はどのような意味を持つのでしょうか。

少子・高齢化が変える医療のあり方

医療制度の改革が大きな話題になっていますが、この改革にはどんな目的があるのでしょうか？

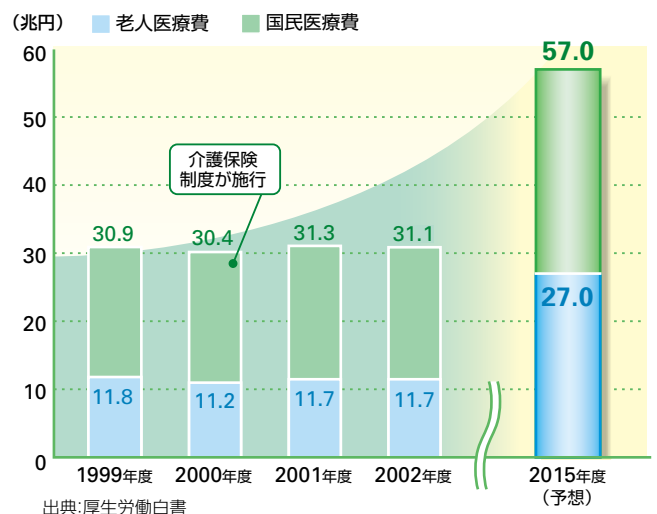
現在、世界的な傾向として、先進国の多くでは高齢化が進んでおり、社会構造が大きく変わりつつあります。その変化に対応するために、各国はさまざまな制度改革に取り組んでいます。世界一の長寿国である日本では、高齢化とともに少子化が進み、社会保障制度の在り方を根本的に見直さなければならない時期を迎えています。

特に医療制度は、このままでは将来的に制度そのものの維持が危ぶまれるようになりました。高齢化が進む一方、医療費を支える若い世代の人口が減り続けているからです^{図1}。

また少子・高齢化のみならず、経済の変化や医療技術の進歩、国民の健康に対する意識の高まりなど、医療を取り巻く環境が大きく変化したために、さまざまな面でこれまでの医療制度が社会の実態にそぐわなくなってきました。そこで、政府は医療制度の改革に取り組んでいます。

改革が目指しているビジョンは、「**利用者の視点に立った効率的で、安心かつ質の高い医療の提供**」「**健康寿命*を延ばし、生活の質を高める保険医療サービスの提供**」「**国民に信頼される持続可能で安定的な医療保険制度の構築**」の3つに大別されます^{図2}。

図1：国民医療費の推移と将来推計



先進国で進む高齢化や少子化。
社会の構造が大きく変化する中で
新しい医療制度が求められています。

医療制度改革の目的は
患者さんにとって効率的で質の高い
医療を提供することです。

その政策の柱は、医療環境の整備と医療費増加の抑制、そして保険制度の維持・適正化です。簡単に言うと、医療の質は落とさずに医療費を抑えながら、保険制度を維持しようとする事です。私たちが安心して生活できるように、効率的で質の高い医療を確保することが最大の目的です。

改革に向けたビジョンのなかでも、特に医療機関に大きな影響を与えているのは、医療費の適正化を図るために定期的に実施される診療報酬の見直しです。

今年4月の診療報酬の見直しにおいては、大幅な医療費抑制効果を狙い3.16%という過去最大の引き下げ幅となりました。

医療環境の変化とシスメックスの強み

医療機関では経営の改革が進められていますが、シスメックスにはどのような影響があるのですか？

医療制度改革において医療機関が求められているのは、患者さんにとって効率的で質の高い医療を提供し、経営の改革を推進することです。“経営の改革”というと、医療機器の需要が減少し、シスメックスにとって逆風になるのではないかとと思われるかもしれませんが、「**経営を改革しながら、効率的でより質の高い医療を提供する**」ことは、まさに**シスメックスが強みを発揮できる領域**なのです。

例えば、今回の診療報酬の見直しでは、『外来迅速検体検査

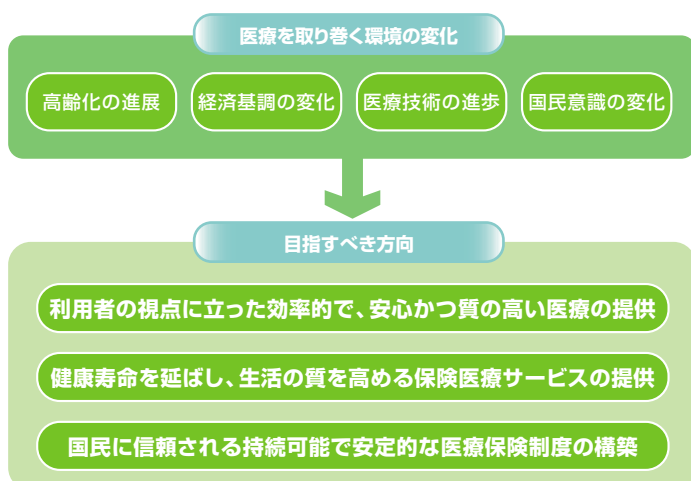
加算』項目が新設されました。これは、患者さんが来院したその日の内に検査結果が得られ、その結果に基づく診療が行われた場合に加算されます。検査結果の報告の迅速化による患者さんの来院回数削減と医療費抑制、患者さんの負担の軽減を目指しています。これに対し、当社の小型自動血球計数装置*『KX-21N』や『pocH-100i』、インフルエンザ迅速診断検査キット『ポクテム』は、その場で検査結果が得られ、迅速かつ的確な診断に貢献しています。

また、新たに『電子化加算』という項目も追加されています。これは、カルテや領収書の明細、検査、処方等の発注、検査結果や診断の記録が電子化によって整備されていることで加算の対象になります。受付から検査、診療、支払い、薬の処方までを迅速化するとともに、検査や診療のデータを電子化することにより情報開示を容易にし、患者さんの視点に立った透明性の高い医療サービスを推進するものです。

当社は、検査室を中心に院内システムをサポートする臨床検査情報システムと、大病院からクリニックまでそれぞれの医療機関の規模に適合した製品を組み合わせることで、『電子化加算』と『外来迅速検体検査加算』の両方に対応したソリューションビジネス*を推進し、差別化を図っています。

さらに、効率的で質の高い医療サービスは、医療機関が単独で実現するには困難な側面があります。医療機関やメーカー、流通などが協力することで、より効率的なシステムが実現するでしょう。

図2: 医療制度改革が目指しているビジョン



出典:厚生労働省ホームページ



多項目自動血球計数装置
pocH-100i

コンパクトサイズの装置で、操作が簡単です。高精度な測定結果を簡単に得ることができ、診断・治療の現場での血液検査を容易に行うことができます。



インフルエンザ迅速診断キット
ポクテム インフルエンザ A / B

インフルエンザ診断補助のための迅速検出キットです。検体を抽出した試料を試験紙に滴下し、インフルエンザのA、B型ウイルスを同時に区別します。



HSTトランスポーターシステム HSTシリーズ

血球計数から白血球分類、網赤血球測定、塗抹標本の作製、染色までを完全自動化しました。多様なバリエーションにより個々の検査室のニーズに対応できます。

新しい医療制度とシスメックスの目的は同じ。 シスメックスは豊かな健康社会の実現を目指します。



このような環境を総合的に捉えてみると、医療制度改革は、シスメックスの強みを活かすチャンスに満ちています。シスメックスはこれからも、検体検査領域のリーディングカンパニーとしての役割を果たしていきたいと思えます。

ヘルスケア分野で活躍するシスメックスの未来

医療環境が大きく変化していくこれからの社会でシスメックスはどのような役割を果たしていくのでしょうか？

医療制度改革が目指すビジョンのひとつとして、人々の健康寿命を延ばし、生活の質を高めることがあげられています。

これまでの医療制度が目指していたのは、長生きのための医療の実現でした。それが一定の成果をあげた今、新たな問題となっているのは、寿命は延びたけれど、生活習慣病に代表されるさまざまな病気になる確率が高くなってきたことです。これが結果的に、医療財政の圧迫にもつながっています。

新しい医療制度では、「長生きのための医療」から「生活の質を高めるための医療」へと大きく舵をきりました。**治療から予防医療への転換**です。健康で長生きするために、まず病気を予防し、たとえ病気を患っても、患者さん一人ひとりにとって最適な医療を提供することが医療費の抑制にも大きく貢献します。

*** 検体検査:** 血液や尿、細胞などを体の中から取り出して調べる検査のこと。シスメックスは、「検体検査」分野で、血液検査や免疫血清検査、尿検査などをおこなうための機器や試薬、さらにはこれらに関するソフトウェアなどの研究開発から製造・販売・サービス&サポートまで手がけている総合メーカーです。

*** 健康寿命:** 私たち一人ひとりが生きている長さの中で、元気で活動的に暮らすことができる長さのこと。

*** 血球計数装置:** 赤血球・白血球・血小板の数・種類・大きさやヘモグロビン濃度を測定し、赤血球数・ヘモグロビン濃度から貧血や多血症等を診断する検査装置です。

*** ソリューションビジネス:** ソリューション (solution) の語源は、動詞の solve で「問題を解決する・解答を出す」などを意味します。日本語でこの言葉が登場するのは、主に情報と経営の分野で、シスメックスは医療現場の多様な課題を解決するために、医療機関を総合的にサポートしています。

*** 疾患マネジメント:** 新しい検査を導入することで、一人ひとりの患者さんに最適な医療を提供するマネジメントシステムです。

*** クオリティ・オブ・ライフ:** Quality of life (クオリティ・オブ・ライフ) は「生活の質」という意味です。これは「人が人としての尊厳を保ち、よりよく生きること」を指しています。

この新しい医療制度が目指す方向と、シスメックスが事業を通じて目指す方向は同じです。**当社が取り組んでいるライフサイエンス事業が、「予防医療」に大きく貢献すると期待されています。**

ライフサイエンス分野で当社が取り組んでいる、疾患マネジメント*に貢献する価値の高い検査は、病気の予防や再発・悪化予防のために、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供することを目指しています。まず、現在死亡率が最も高い病気である「がん」と患者さんの増加が予測されている「糖尿病」に着目して、さまざまな技術開発に取り組んでいます。

患者さんの負担軽減と医療の質向上を目指し、大きく変化する医療環境のなかで、私たちの製品や技術は、今後ますます大きな役割を果たしていくと期待しています。そして、すでに始まっているシスメックスのヘルスケア分野における事業の拡大は、人々のクオリティ・オブ・ライフ* (生活の質) 向上の実現を目指しています。

私たちは、豊かな健康社会づくりに貢献していきたいと考えています。今後ともご支援のほどよろしくお願ひします。



Hisashi Ietsugu

PROFILE

家次 恒 いえつぐ ひさし

【出身地】大阪

【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亜医用電子株式会社（現シスメックス株式会社）に入社。1996年、代表取締役社長に就任。

【趣味】読書、ゴルフ、スポーツ観戦（熱心な阪神タイガースファン）

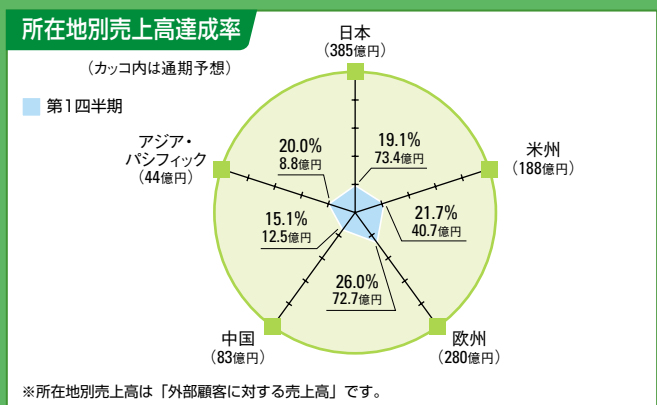
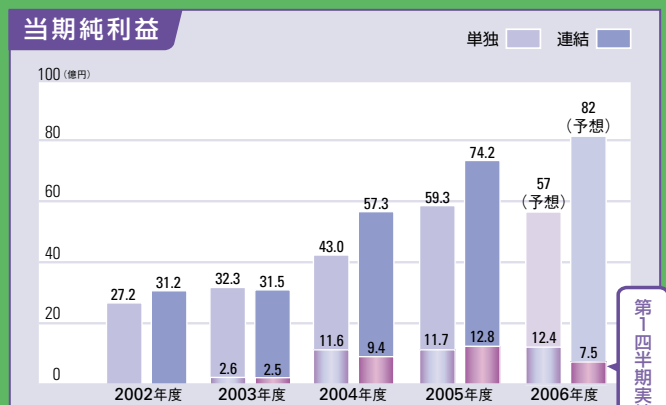
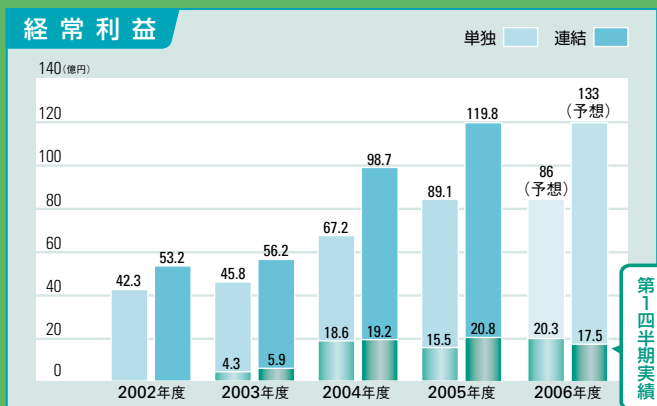
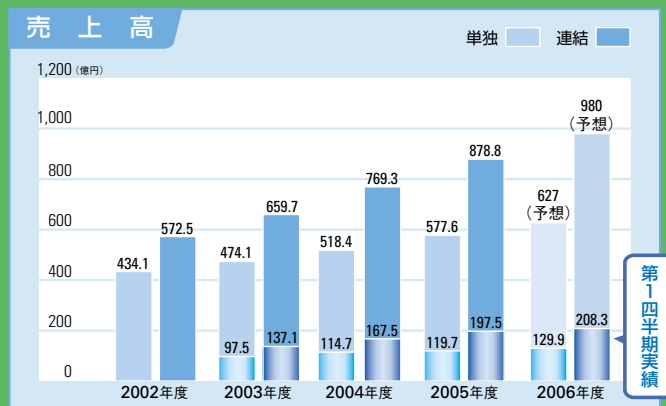
【信条】「意あらば通ず」

業績の推移 | 当第1四半期（4月～6月）の連結売上高は、海外における販売が好調に推移した他、為替の影響等により前年同期比5.5%増加し208億円となりました。仕向け地別の売上高では、国内売上高は、前年同期比0.1%減少し70億円、海外売上高は前年同期比8.5%増加し137億円となりました。利益面では、研究開発費の増加および海外での事業体制強化に伴う販売サービス費用の増加等により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は前年同期比14.4%減少し16億円、経常利益は前年同期比16.1%減少し17億円となりました。また、前年同期に比べて海外子会社からの受取配当金の増加の影響により法人税等の負担が増加し、四半期純利益は前年同期比41.2%減少し7億円となりました。

所在地別の状況として、日本では、医療費増加の抑制を目的とした医療制度改革の動きが活発化し、2006年4月の診療報酬改定が過去最大の3.16%引き下げとなる等、厳しい市場環境が続いています。このような環境の下、当社は、総合サプライヤーとしてのソリューション提案活動に取り組みました。その結果、売

上高は前年同期比0.3%増加し73億円（韓国・台湾の売上含む）となりました。米州では、販売サービス体制の充実を図るとともに、IHN（統合ヘルスケアネットワーク、Integrated Healthcare Network）および中小規模病院、検査センターに対する販売活動を強化した結果、売上高は前年同期比13.0%増加し40億円となりました。欧州では、ライフサイエンス事業初の商品となる遺伝子増幅検出装置「RD-100i」の市場導入を開始しました。また、南アフリカ共和国に現地法人シスメックス サウスアフリカを設立し、代理店への販売支援およびお客様へのサービス&サポートを強化する等、販売地域の拡大と総合提案型販売を推進したことにより、売上高は前年同期比10.1%増加し72億円となりました。中国では、政府による医療業界クリーンキャンペーンの影響等により、医療業界全体の需要が低調に推移し、売上高は前年同期比7.5%減少し12億円となりました。アジア・パシフィックでは、総合サプライヤーとしての販売活動が奏功し、売上高は前年同期比3.0%増加し8億円となりました。

なお、中間期および通期の業績見通しに変更はありません。



シスメックス・トピックス

2006/4-6

SYSMEX TOPICS

四半期の動向

- 4月 >> 南アフリカ共和国に現地法人を設立し、アフリカでの事業展開を加速
- 5月 >> 動物用多項目自動血球計数装置「pocH-100iV Diff」を発売し、グローバルな動物検査市場に本格参入
- 6月 >> 全自動尿中有形成成分分析装置「UF-1000i」を発売し、腎・尿路疾患の診断を支援
- 6月 >> ドイツに海外研究開発拠点「欧州R&Dセンター」設立を発表
- 6月 >> 米国で共同購買組織を運営するプレミア社より最優秀企業賞を受賞

ドイツに当社初の海外研究開発拠点『欧州R&Dセンター』を設立

本年7月、当社初の海外研究開発拠点となる欧州R&Dセンターをドイツに設立しました。

シスメックスは、テクノセンター（神戸市）を中心に、研究者や技術者を世界各地の研究機関や医療機関に派遣し、グローバルに研究開発を進めています。

この度設立した欧州R&Dセンターでは、欧州の立地*を活かし、関係機関との連携をさらに深め、血球分析装置（システム）の開発やライフサイエンス分野における研究テーマの事業化を加速していきます。

今後は当社のグローバルなネットワークを活かし、中長期的な視野で、疾患マネジメントの実現を目指した価値の高い検査を創造していきます。

欧州R&Dセンター



*ドイツは歴史的にも医学の進歩に貢献したことで知られており、今日でも多くの医療関連の企業が本拠地を置き、先進的な取り組みを行っています。

IR・広報室からのお知らせ

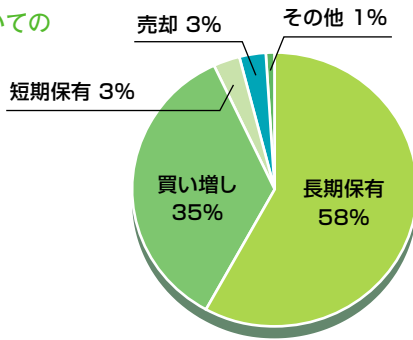
株主様アンケート結果のご報告

第39期営業のご報告『Be Fine!』で実施した「株主様アンケート」の結果をご報告いたします。

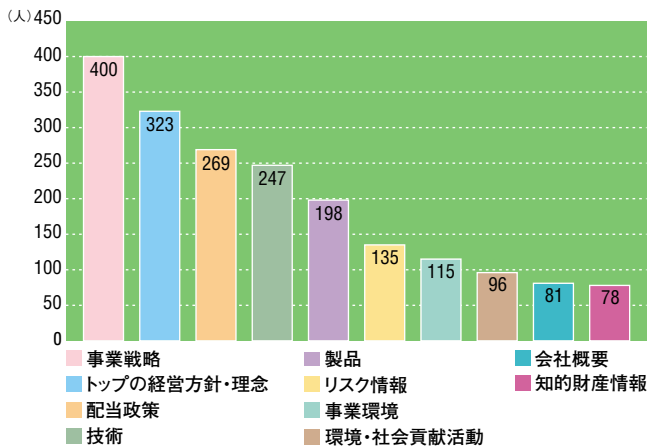
今回は456通（総株主数の5.5%）のご回答をいただきました（7月末日現在）。

アンケートにご協力くださいまして、誠にありがとうございました。

●当社株式についての今後の方針



●今後当社のどのような内容についてお知りになりたいですか？



今後もお寄せいただいたご意見を参考に、お伝えするテーマを選択し、わかりやすい情報発信に努めてまいりたいと思います。

自由ご記入欄では、

「財務諸表をグラフでわかりやすく説明され、良くてきている。」（50歳代・男性）

「読んでもらいたい、という気持ちや、読んで楽しく伝えることを目指しておられる意欲に感心しました。」（70歳代・女性）

「IRのホームページは内容・情報量とも、他の会社に比べて充実している。」（60歳代・男性）

等、お褒めのお言葉を多数いただき、関係者一同にとって大きな励みになりました。一方で、カタカナが多いとのこと指摘やさらなる情報充実へのご要望も頂戴しました。今回の誌面作りにおいては、できるだけカタカナの表現を減らすとともに、専門用語等には注釈をつけました。

今後も、皆様から頂戴した様々なご意見は、社内で共有し活かしてまいりたいと思います。（IR・広報室 H・Y）

メール配信サービスはご登録されましたか？

本年6月より、当社の最新トピックスやホームページの更新情報などを電子メールにてお知らせするメール配信サービス（ご登録・購読無料）を開始しました。皆様、ご登録はお済みでしょうか？

随時、最新の情報を発信してまいります。多くの皆様のご登録をお待ちしております！

＜ご登録はこちらへ＞

www.sysmex.co.jp/ir/index.html

株式メモ

■ 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■ 定時株主総会	6月
■ 基準日	定時株主総会 3月31日／期末配当金 3月31日／中間配当金 9月30日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告して設定します。
■ 公告掲載新聞	日本経済新聞
■ 上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
■ 証券コード	6869
■ 単元株式数	100株
■ 株式事務	株主名簿管理人 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 同事務取扱場所 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先・電話照会先) 〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル) 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店

会社概要

(2006年6月30日現在)

■ 商号	シスメックス株式会社 SYSMEX CORPORATION (1998年10月1日東亜医用電子株式会社から商号変更)
■ 設立年月日	1968年2月20日
■ 資本金	79億5,459万円
■ 格付	A (R&I:格付投資情報センター)
■ 従業員数	1,257名 ※上記従業員数には関係会社への出向者191名および準社員・嘱託・パートタイマー142名は含んでおりません。
■ 主な事業の内容	臨床検査機器、検査用試薬、粒子分析機器ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入
■ 主な事業所	本 社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 ソリューションセンター テクノセンター 研究開発センター 加古川工場 小野工場* 西神工場* 仙台支店 北関東支店 東京支店 名古屋支店 大阪支店 広島支店 福岡支店 *シスメックス国際試薬株式会社 営業所：札幌、盛岡、長野、新潟、千葉、横浜、静岡、金沢、 京都、神戸、高松、岡山、鹿児島